

国立国語研究所 所長

影山太郎先生 講演会

複合動詞の研究は 何に役立つか

日時：2012年6月28日(木)

13:30-14:30



影山 太郎 先生

理論言語学（特に形態論、レキシコン研究）
1949年神戸市生まれ、大阪外国語大学外国語学部英語
学科卒業、同大学院修士課程英語学専攻修了
南カリフォルニア大学大学院言語学科博士課程修了（Ph.D.）
大阪大学言語文化部、関西学院大学文学部を経て、現在、
大学共同利用機関法人・人間文化研究機構・国立国語研究
所所長

2009年～2012年 日本言語学会会長

1980年 著書『日英比較 語彙の構造』に対して市河賞受賞

1994年 著書『文法と語形成』に対して金田一京助博士記念賞受賞

主著

上記の他

『動詞意味論』1996年、『形態論と意味』1999年、『語形成と概念構造』1997年（他1名との共著）、『日英対照 動詞の意味と構文』2001年（編著） など多数あり

会場：大阪大学箕面キャンパス 外国学図書館
4階 AVホール（事前申込不要・入場無料）
学会員以外の方、一般の方もお来聴歓迎いたします